

筑摩縣
博覽會

信濃國筑摩郡
深志の城ハ
天正年間
小笠原氏の建

築城の地ハ
築城の地ハ
築城の地ハ
築城の地ハ

七十一年の
星霜を経

▲廢城と
築摩

縣と唱へ
換為し

より御徳
澤日々市
街は洞ひ

人民月々
開化ハ
進む然れ

と山國
の僻縣
見るところ

少く知らんと為る小物也一故一
土人を一と知見多々今んと竟一

有志會社トモ博覽場を開く事と
成りぬ抑よの會の趣旨たるや古今の

沿革各國の風俗と一目の下集り彼の俊
是の鈍と双々相教え相學び工夫智力を

交易為るが如き法を我安政元年英吉利
の首都倫敦ハ始めて是を倣ひて二年の
佛蘭西の首都巴黎斯ハ開き一より世一
行くくと盛人一至り既日本朝も東京一
早く此會を用けり因りて是は倣ひ本年

松本城下町

明治六年十月十日

八枚組

博覽會社

本十月十日

本城大守室閣中ハ開建一猶表陽ハ
再會と大ハ一續て常備の博覽場と
為一永く諸人の文明を導き開化
の楷標と為るとのあり

但今年ハ東京府博物館
と始め諸君より出品派
願ひ表陽ハ西京の出品
乞ひ月と追ひ年

重ね諸國の名産
奇品を集め
往々ハ世界萬國
及及び成天の
博覽常備場
と為さんとハ
大方の諸君子
爰ハ補と
垂れ給人
事と
希ふ

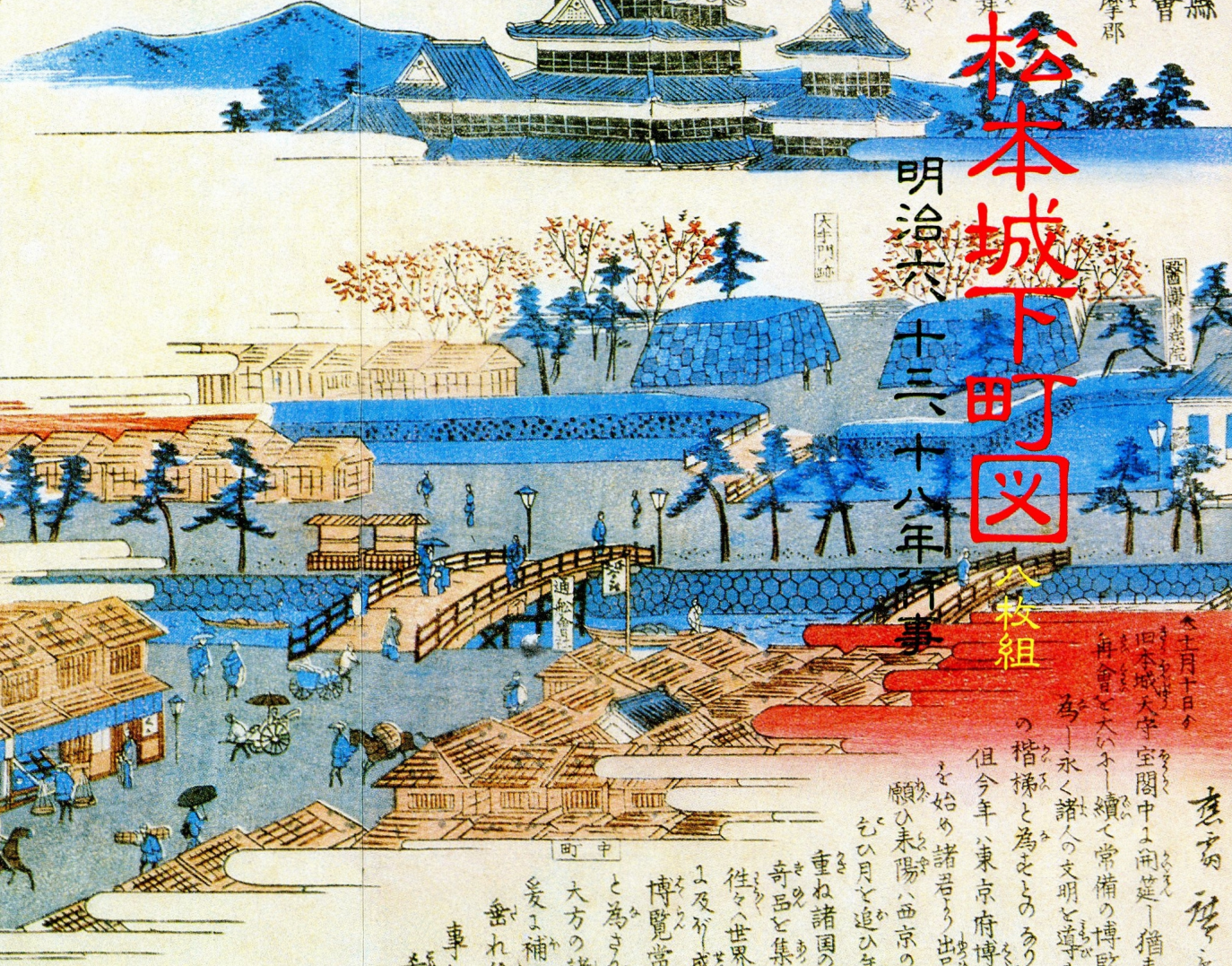
町中

聖教町

開智學校

大寺門跡

醫藥院



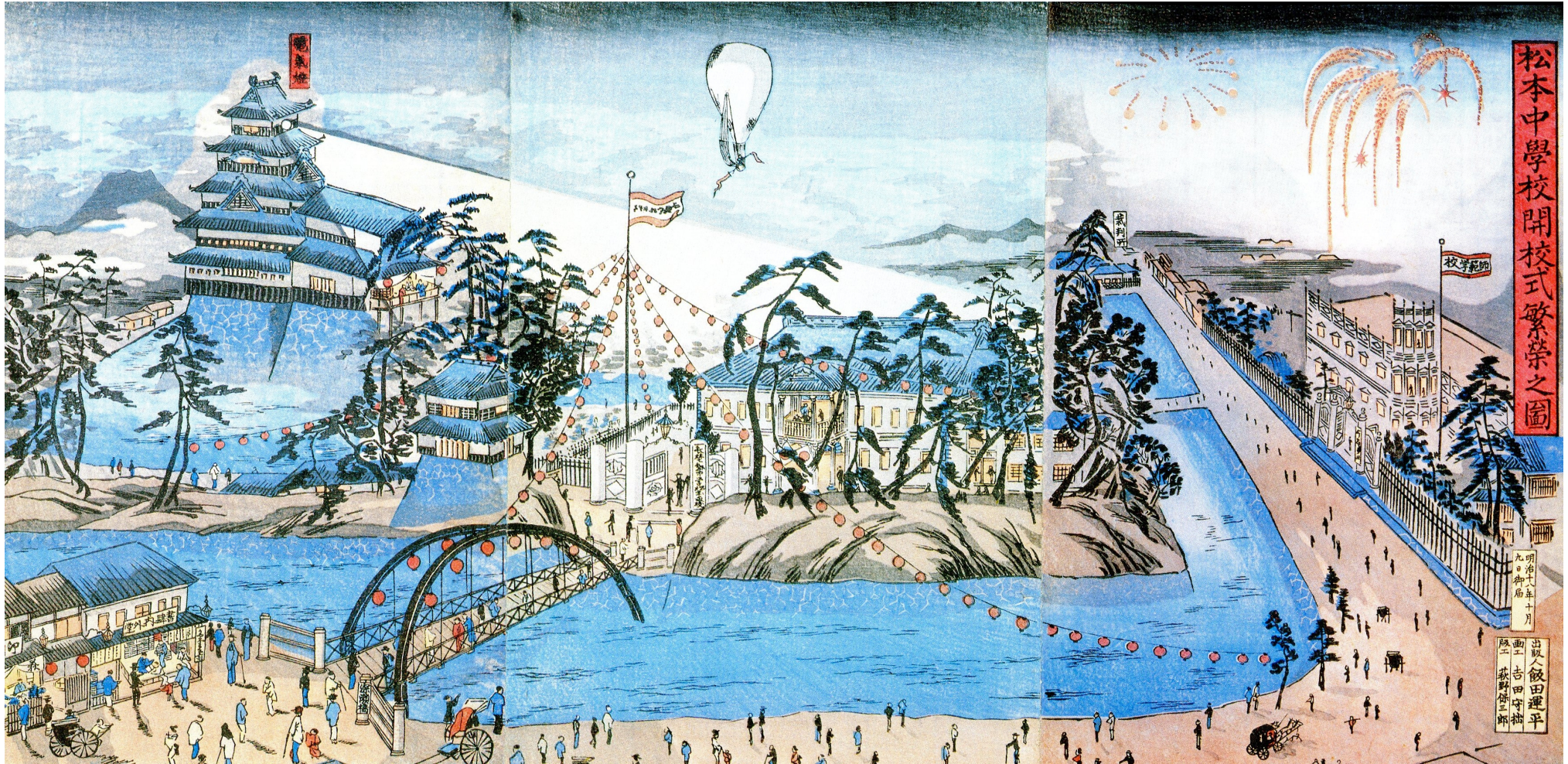
"Matsumoto Castle Town" in 1873 (松本城下町圖; 明治六年)

筑摩県博覧会

信濃国筑摩郡深志の城は天正年間小笠原氏の建築ある処にて爾後守主たびたび代り今三百七十年の星霜を経廢城となり筑摩県と唱え換為してより御徳澤日々市街に潤い人民月々に開化し進む然れども山国の一僻県見るところ少なく知らんと為るに物乏し故に土人をして知見多から令んと竟に有志会社して博覧場を開く事と成りぬ抑この会の趣旨たるや古今の沿革各国の風俗を一目の下に集め彼の俊是の鈍を双べ相教え相学び工夫智力を交易するが如き法にて我安政元年英吉利の首都倫敦に始めて是を倣し次で二年の仏蘭西の首都巴里斯に開きしより世に行いしを盛んに至り既に本朝でも東京に早く此会を開けり因りて是に倣い本年十一月十日に旧本城天守宝閣中に開筵し猶来陽へ再会を大いにし続て常備の博覧場を為し永く諸人の文明を導き開化の階梯と為さんとのなりし但今年は東京府博物館を始め諸君より出品を願ひ来陽は西京の出品を乞い月を追ひ年を重ね諸国の名産奇品を集め往々へ世界万国に及ぶ盛大の博覧常備場と為さんとし大方の諸君子爰に補を給ん事を希う



“Emperor Passing through Matsumoto” in June, 1880 (明治十三年六月 御巡幸松本御通圖)



"Opening Ceremony of Matsumoto Chugakko" in October, 1885 (明治十八年十月 松本中學校開校式繁榮之圖)